

《日本テクノ(株)「テクノ・サテライト・オフィス」訪問レポート》

独自のシステムを構築し 安心・安全の確保と低コスト化を実現

日本テクノ(株)が展開する、“電気の見える化”により電気料金を削減する「電力コンサルティング」や、保安管理費を低減する「キュービクル保安管理」は、レジャー・ラブホテル分野でも注目が高まっている。同社のシステムの核となっているのが、沖縄県沖縄市の「テクノ・サテライト・オフィス」だ。本稿では、同オフィスを訪れ、主な機能をレポートする。

■「監視センター」

同社の「キュービクル保安管理」業務は、各施設のキュービクルに監視センターとオンラインで結ばれる監視装置を設置し、24時間・365日、リアルタイムで各施設の電力使用状況を監視する。この監視センターには、全国約3万8,000件にのぼる同社の保安管理契約施設の情報がすべて集まっている。停電等の異常が発生すると、対象物件は即座に特定され大型モニターに表示、同時に対象物件の経営者や担当者などの緊急連絡先にも連絡が届く仕組みだ。

このシステムによって、停電等の障害に速やかに対応し、被害を最小限にとどめるとともに、保安管理費用の大幅な削減も実現しているのである。

■「カスタマーサービスセンター」

同センターの役割は、顧客へのアフターフォロー業務だ。これは単に、同社サービスへの質問に答えるだけではない。ここにも電力コンサルティング契約をしているすべての施設の電力使用状況のデータがオンラインで集約されている。年2回、顧客と同センター



沖縄市に2007年に設置



「監視センター」



異常発生時には即座にモニターに表示



「カスタマーサービスセンター」 「コールセンター」



事業所長・板岡康二氏

※

が同じPC画面をみながら、現状の電力使用状況を分析し、改善方法などの専門的なコンサルティングが行なわれているのだ。

■「コールセンター」

同社営業スタッフと新規顧客をつなぐ機能を担う部署だ。同社営業スタッフのPCと同センターはネットでつながり、全営業スタッフのスケジュールを共有。顧客の都合に合わせて同センターで訪問等のアポイントを入れるなど、顧客への的確かつ即座な対応ができるシステムで対応している。

■「研修センター」／「沖縄営業所」

この施設は、同社社員の研修機能も有している。ちなみに同社の新入社員教育は3か月に及び、現場でのOJTをはさみながら神奈川および同センターで研修が行なわれ、電力の基礎知識から各種改善のためのコンサルティングの仕方まで学んでいく。

また、同オフィス内には、沖縄営業所が設けられ、沖縄県内の各種事業者に向けて、さまざまな電力ソリューションを展開している。

「テクノ・サテライト・オフィス」を実際に訪れてみて、同社の各種業務がシステム化による効率と確実性を実現し、顧客ニーズ（安心・安全の確保とコスト低減）に応える仕組みのもと、日々の業務に取り組みされていることが、よく理解できた。

事業所長・板岡康二氏は、「当社は、1995年設立の若い企業。常にチャレンジ精神で新しい取組みを行ない、キュービクルのデマンド監視装置や“電気の見える化”を実現するスマートメーターの開発・販売などを通して、電気保安管理の安心・安全の確保と費用の低減、そして電力の省コスト化のソリューションに取り組んでいます。ぜひ、多くの事業者の方々に当社のシステムをご活用していただきたいと思っております」と語った。

[問合せ]

(株)テイダン (日本テクノ係)

東京都千代田区内神田 1-4-13

CRC 北大手町ビル 6F

TEL.03-3518-2866

FAX.03-3518-2867